

平成 19 年 5 月 15 日

地域密着型金融推進計画の進捗状況について

1. お客様へ

平成 17 年 3 月、金融庁の「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」に基づき、「地域密着型金融推進計画」の進捗状況（17 年 4 月～19 年 3 月）を下記のとおり公表いたします。

2. アクションプログラムへの取り組み状況

項目	進捗状況
事業再生・中小企業金融の円滑化	<ul style="list-style-type: none">(1) 政府系金融機関、官公庁、産学官と連携し創業資金支援、ビジネスマッチング、新規事業の育成支援、取引先への経営支援、事業再生に取り組むとともに、研修会〔地元企業への訪問による実地研修（12 回実施）等〕を通して人材の育成を図っています。(2) 経営改善支援先に対しコンサルティング機能を活用し、合計 17 社（平成 17 年度 6 社、平成 18 年度 11 社）をランクアップしました。(3) 無担保資金（力、地域支援）、スコアリング（信用格付け）形式を利用したスーパーセーフティ、売掛債権担保融資等の融資商品の販売に取り組みました。(4) 顧客への説明態勢の整備、ローンレビュー（融資後の業況把握）、財務制限条項の活用等に取り組みました。(5) お客様からの苦情に対しては迅速に取り組むとともに、研修会等により再発防止に努めています。
経営力の強化	<ul style="list-style-type: none">(1) 新信用格付けシステムの導入に取り組んでいます。(2) リスクに応じたプライシング（融資金利設定）の定着を推進しています。(3) 様々なリスクを管理する「統合リスク管理担当」部署を設置し、リスク制御による健全性の確保、収益性や効率性を目指す体制としました。(4) 法令等遵守態勢については、自店監査、監査部監査を実施し各態勢の検証を実施し、不備事項についてはコンプライアンス委員会に報告し厳正に取り組んでいます。

	(5) 適切な顧客情報の管理・取扱のため、研修会等を実施するとともに、態勢の強化（鍵管理機、カード管理機、ファイルサーバー等）を図りました。
地域の利用者の利便性向上	(1) ディスクローズ誌に金融活動を分りやすく開示しました。 (2) 利用者満足度アンケート調査（個人・法人）を実施し、その結果を公表するとともに、寄せられた意見・要望に回答し、経営方針（事業計画）への反映、業務改善等に取り組んでいます。

3. 経営計画（計数）の状況

目標項目	19年3月末目標計数	19年3月末計数
預金残高	1,800億円	1,762億円
融資残高	900億円	873億円
不良債権比率	9%台	10.14%
自己資本比率	7%台	7.01%
繰延税金資産比率	15%以内	15.15%

以上